

日本顕微鏡学会 超分解能電子顕微鏡分科会

第6回研究会「高分解能位相顕微鏡法」

日時 2011年2月25日(金) 13:10-17:25

場所 東京駅 TKP京橋ビジネスセンター カンファレンスルーム3A

(定員70名:会場スペースの都合上、定員にて受付を締め切らせて頂きます)

会費 1,000円

趣旨

様々なタイプの収差補正が考案され、そして、実用化されている現在、位相顕微鏡法が大きく進展しようとしている。本研究会では、位相顕微鏡法に関する先進研究者の方々にこれまでの取り組みや今後の進展に関するお話を伺う。また、「光の鉛筆」の著者である鶴田先生より光学顕微鏡における取り組みについてお話を伺うことで、位相顕微鏡法の可能性、特に、高分解能化について議論する。

13:10-13:15 「はじめに」

大阪大学 大島義文

座長 谷城 (東工大)

13:15-14:00 「電子顕微鏡像の位相コントラストとその回復」

大阪大学 高井義造 (45分)

14:00-14:45 「Hollow-cone 照明におけるレンズ位相伝達に基づく ABF-STEM 結像の解釈」

東京大学 阿部英司 (45分)

14:45-15:30 “Principles of image formation in bright and dark field atomic-resolution scanning transmission electron microscopy”

University of Tokyo, Scott D. Findlay (45分)

15:30-15:45 休憩

座長 阿部 (東京大)

15:45-16:45 「光学顕微鏡における位相の回復」

元 株式会社ニコン 鶴田匡夫 (60分)

16:45-17:30 「強度輸送方程式による位相回復法とその定量性」

物質・材料研究機構 三留正則 (45分)

参加申し込み : 下記世話人までメール
でお願いします

第6回研究会世話人 :

大島義文 (大阪大学超高压電顕センター)

TEL: 06-6879-7941

E-mail: oshima [a]uhvem.osaka-u.ac.jp

